

2022年度 富山教区団体参拝

# 高山別院報恩講へ 行かれまあ～

- 期 日 2022年11月2日(水)
- 定 員 大型バス1台 20名(参加者10名に満たない場合は中止)  
※感染症対策のため、定員は満席の半数以下とします。
- 参加費 8,500円(昼食付)

## ●日 程

11月2日(水)

- 6:00 朝日IC
- 7:30 富山別院
- 9:30 高山別院着
- 10:00 高山別院報恩講日中 参拝(～12:00)
- 12:00 昼食 高山市内
- 昼食後 高山市内自由散策
- 14:00 高山別院発
- 14:30 飛騨千光寺 参拝(～15:30)
- 17:30 富山別院
- 18:50頃 朝日IC

※日程は変更になることがあります

## ●申 込

お手次のご住職に、参加費を添えてお申込み下さい。

※教務所に申込用紙と参加費が届いた時点で申込となります。

参加費は銀行振り込みも可能です。

北陸銀行 荒町支店 普通 5033510 真宗大谷派富山教務所

- 締 切 10月25日(水) ※定員になり次第、締め切ります。



## ●参拝先紹介

### 高山別院

高山別院は光曜山照蓮寺こうようさんしょうれんじという。その起源は遠く鎌倉時代に遡り、開基は親鸞聖人の弟子嘉念坊善俊かねんぼうぜんしゅんである。当初は白川郷に道場を構えており、今もその旧跡が残っている（白川村・嘉念坊道場跡）。

天正13（1585）年、豊臣秀吉の武将・金森長近は飛騨に侵攻。長近は照蓮寺との協調政策をとり、高山の現在地に寺地を与え、堂宇を建立した。

高山別院は飛騨の地域の人々に、「ごぼうさま」と呼び親しまれてきた。創建以来、実に8回に及ぶ焼失に見舞われながらも、そのたびに「おらが御坊さまのため」と、真宗門徒の熱意によって復興されてきたのである。この脈々と受け継がれてきた信仰は今もなお、別院の前で手を合わす人々の姿となっている。

### 飛騨千光寺

高野山真言宗の寺院。仁徳天皇の時代、今から約1600年前に飛騨の豪族・両面宿儺りょうめんすくなが開山し、約1200年前に真如親王が建立されたと伝わる古刹。

「円空仏の寺」としても知られ、境内に「円空仏寺宝館」があり、六十三体の円空仏と寺宝の一部が展示公開されている。

## ●その他

- ・マスクや消毒用ウェットティッシュ等を、ご自身でご用意ください。
- ・当日は、少しでも体調のすぐれない方はご遠慮ください。

主催 富山教区教化委員会 門徒研修小委員会  
問い合わせ 真宗大谷派富山教務所【担当：鷲尾】  
〒930-0083 富山市総曲輪2丁目8-29 TEL076-421-9770

----- 切り取り -----

## 2022年度 富山教区団体参拝 高山別院報恩講 申込書

ふりがな				
名前		性別	年齢	歳
住所	〒 -			所属寺 組 寺
	TEL ( ) -			
乗降 場所	<input type="checkbox"/> 朝日IC	<input type="checkbox"/> 入善IC	<input type="checkbox"/> 黒部IC	<input type="checkbox"/> 富山別院
	<input type="checkbox"/> 魚津IC	<input type="checkbox"/> 滑川IC	<input type="checkbox"/> 立山IC	